

多摩市  
「生涯学習」に関するアンケート  
調査報告書（速報値）

令和元年 10 月  
多摩市

## — 目 次 —

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
II 調査結果.....	2
1. 生涯学習活動について.....	2
2. 市の生涯学習に関連する取り組みについて.....	18
3. あなたご自身について.....	21

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

多摩市では、誰もが、いつでも、どこでも「生涯学習活動」ができるような社会を目指していくために、「第4次多摩市生涯学習推進計画」の策定を予定しています。

本調査は、その取り組みの一環として、市民の皆さんが学習したいことは何？それができないとしたらなぜ？学習したことをどのように役立てたいと思っている？といったことをお伺いがいし、計画づくりの貴重な資料とさせていただくことを目的として実施しました。

## 2. 調査設計

1 調査地域	多摩市全域
2 調査対象者	15歳以上の市民
3 標本数	2,000名
4 調査期間	令和元年9月1日～令和元年9月17日（9月25日回収分まで含む）
5 調査方法	郵送配布・郵送回収による郵送調査及びインターネット調査

## 3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
全体	2,000票	441件 (内インターネット回答数：47)	22.1%

## 4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢毎の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

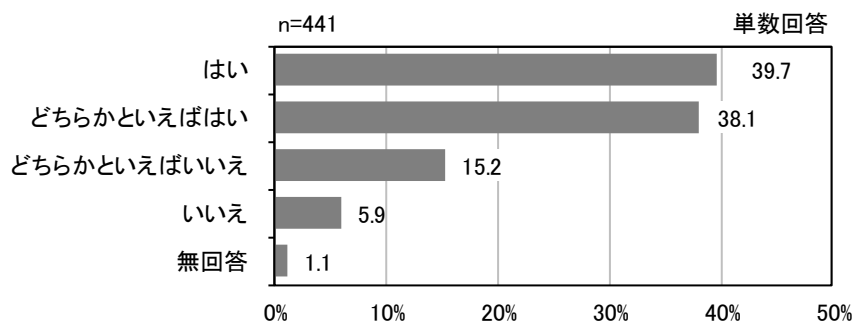
## Ⅱ 調査結果

### 1. 生涯学習活動について

#### 問1 あなたは、『生涯学習活動』について関心がありますか。（1つに○）

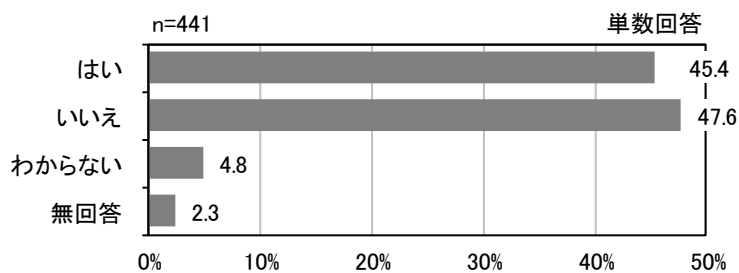
『生涯学習活動』について関心があるかについては、「はい」が39.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばはい」が38.1%、「どちらかといえばいいえ」が15.2%となっています。

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた『はい（関心がある）』が77.8%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた『いいえ（関心がない）』が21.1%となっています。



#### 問2 あなたは、この1年間くらいの間、『生涯学習活動』をしたことがありますか。（1つに○）

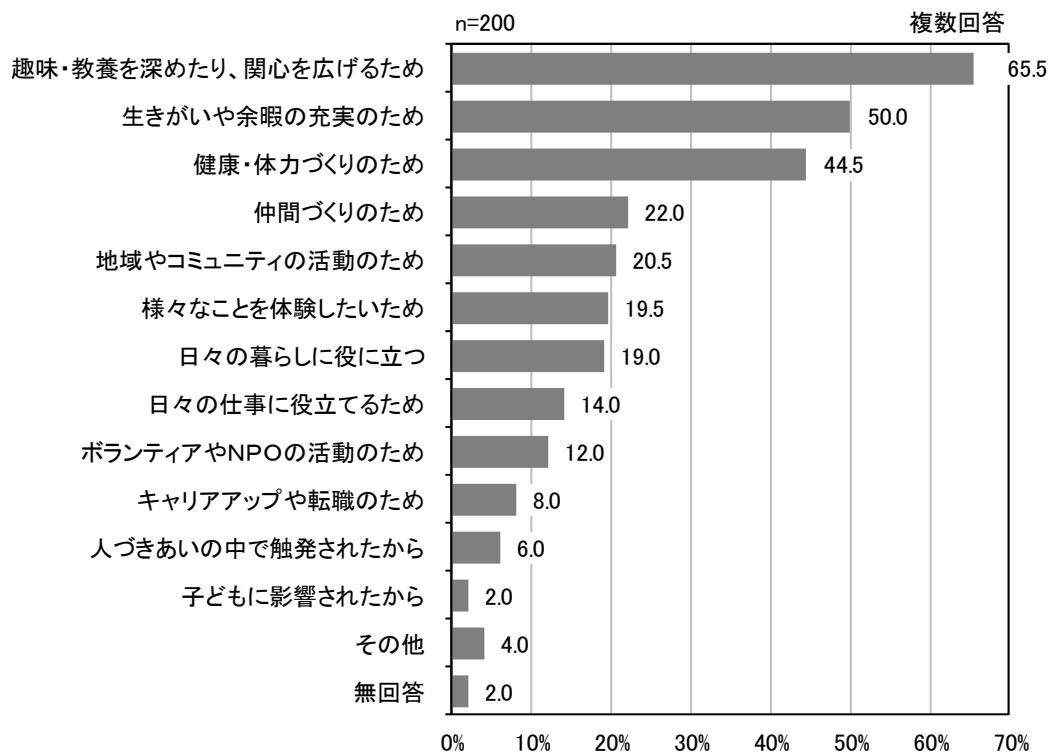
この1年間に『生涯学習活動』をしたことがあるかについては、「いいえ」が47.6%で最も高く、次いで「はい」が45.4%、「わからない」が4.8%となっています。



## ★問2で「1. はい」と答えた方

## 問3 あなたが、『生涯学習活動』をした理由はなんですか。（〇はいくつでも）

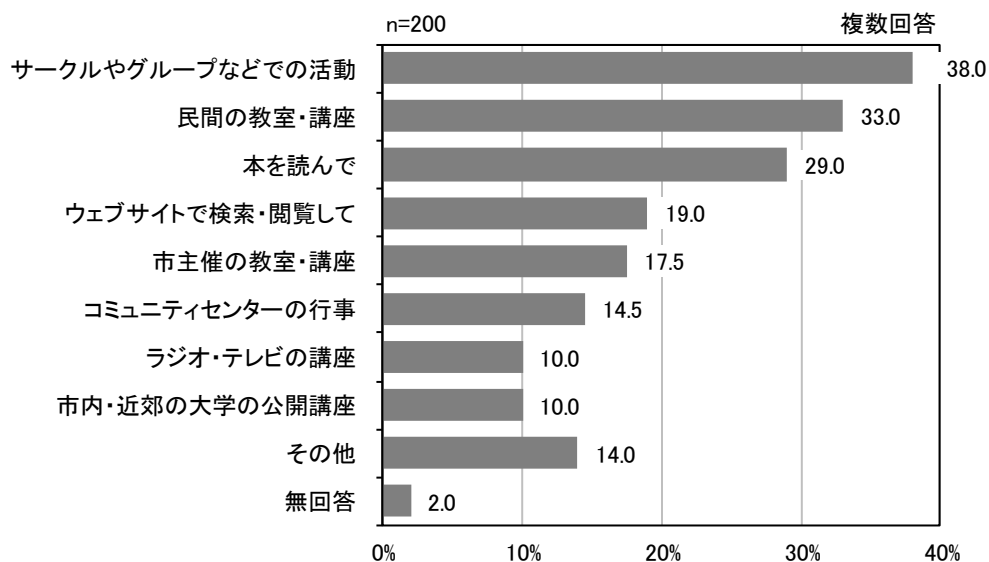
『生涯学習活動』をした理由については、「趣味・教養を深めたり、関心を広げるため」が65.5%で最も高く、次いで「生きがいや余暇の充実のため」が50.0%、「健康・体力づくりのため」が44.5%となっています。



## ★問2で「1. はい」と答えた方

## 問4 あなたは、どのように『生涯学習活動』をしましたか。（〇はいくつでも）

どのように『生涯学習活動』をしたかについては、「サークルやグループなどでの活動」が38.0%で最も高く、次いで「民間の教室・講座」が33.0%、「本を読んで」が29.0%となっています。

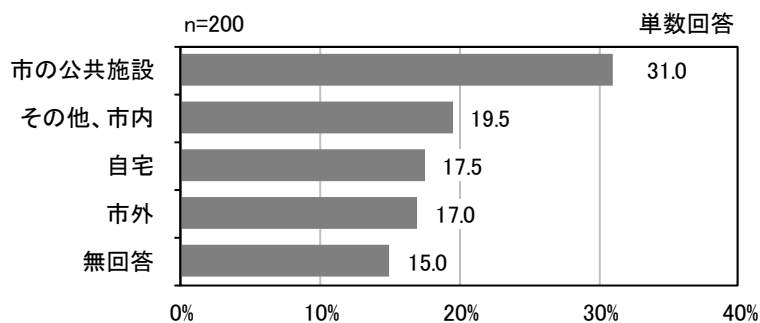


## ★問2で「1. はい」と答えた方

## 問5 あなたが、『生涯学習活動』をするにあたって最も多く利用した場所を選択してください。（1つに〇）

※市の公共施設を選択した場合は、施設名を記入してください。（例：パルテノン多摩など）

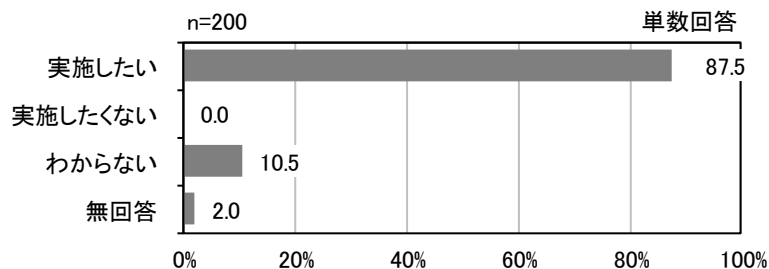
『生涯学習活動』をするにあたって最も多く利用した場所については、「市の公共施設」が31.0%で最も高く、次いで「その他、市内」が19.5%、「自宅」が17.5%となっています。



## ★問2で「1. はい」と答えた方

問6 あなたは、過去1年間に行った『生涯学習活動』を今後も実施したいと思えますか。(1つに○)

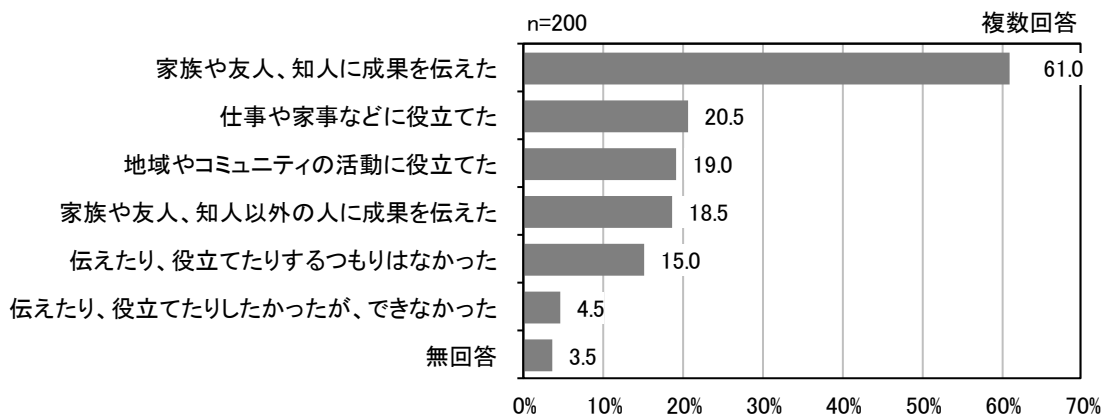
過去1年間に行った『生涯学習活動』を今後も実施したいと思うかについては、「実施したい」が87.5%で最も高く、次いで「わからない」が10.5%となっており、「実施したくない」は0%となっています。



## ★問2で「1. はい」と答えた方

問7 あなたは、過去1年間に行った『生涯学習活動』の成果を誰かに伝えたり（SNSでの発信等）、何かに役立てたりしましたか。（○はいくつでも）

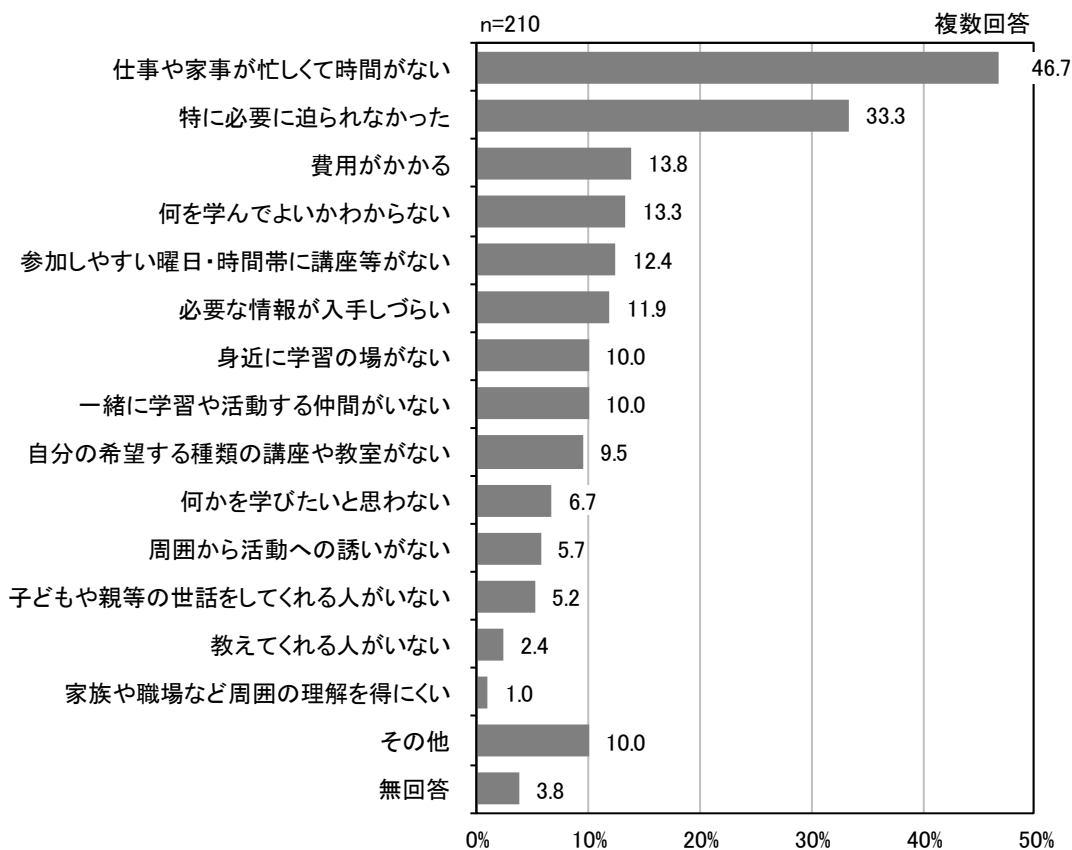
過去1年間に行った『生涯学習活動』の成果を誰かに伝えたり、何かに役立てたりしたかについては、「家族や友人、知人に成果を伝えた」が61.0%で最も高く、次いで「仕事や家事などに役立てた」が20.5%、「地域やコミュニティの活動に役立てた」が19.0%となっています。



## ★問2で「2. いいえ」と答えた方

## 問8 過去1年間で、あなたが『生涯学習活動』をしなかった（できなかった）理由は何ですか。（〇はいくつでも）

過去1年間で、あなたが『生涯学習活動』をしなかった（できなかった）理由については、「仕事や家事が忙しくて時間がない」が46.7%で最も高く、次いで「特に必要に迫られなかった」が33.3%、「費用がかかる」が13.8%となっています。

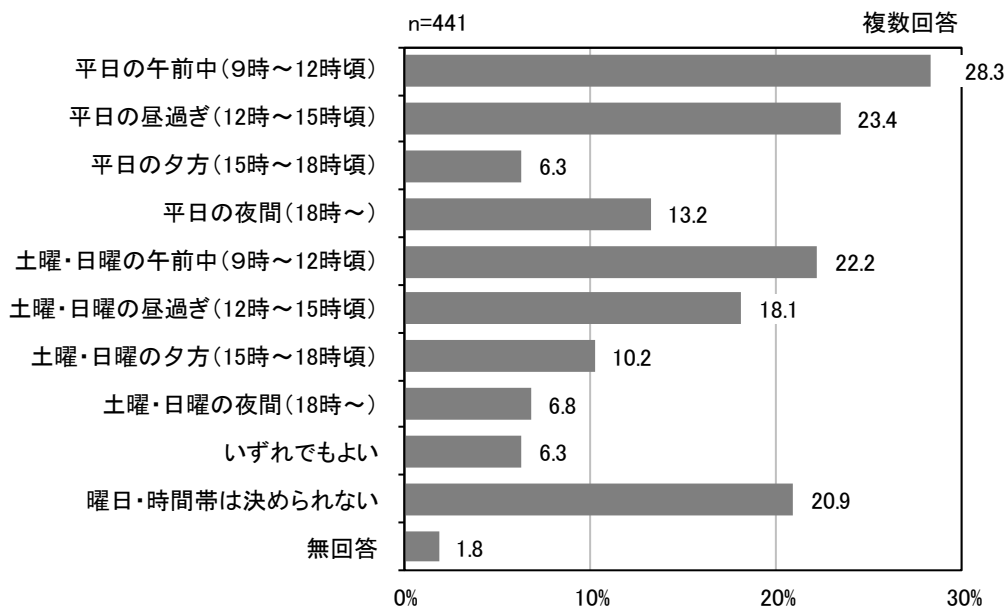




## ★全員がお答えください

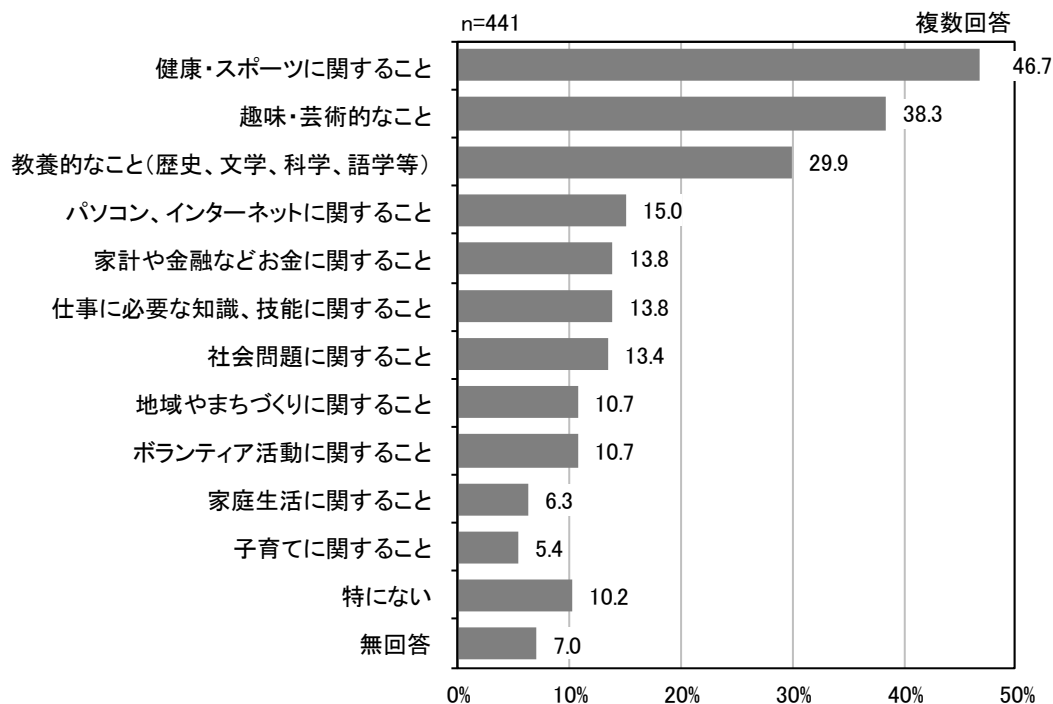
## 問9 『生涯学習活動』しやすい曜日、時間帯はどれですか。(〇はいくつでも)

『生涯学習活動』しやすい曜日、時間帯については、「平日の午前中（9時～12時頃）」が28.3%で最も高く、次いで「平日の昼過ぎ（12時～15時頃）」が23.4%、「土曜・日曜の午前中（9時～12時頃）」が22.2%となっています。



## 問10 今後どのような『生涯学習活動』がしたいですか。(〇はいくつでも)

今後どのような『生涯学習活動』がしたいかについては、「健康・スポーツに関すること」が46.7%で最も高く、次いで「趣味・芸術的なこと」が38.3%、「教養的なこと（歴史、文学、科学、語学等）」が29.9%となっています。

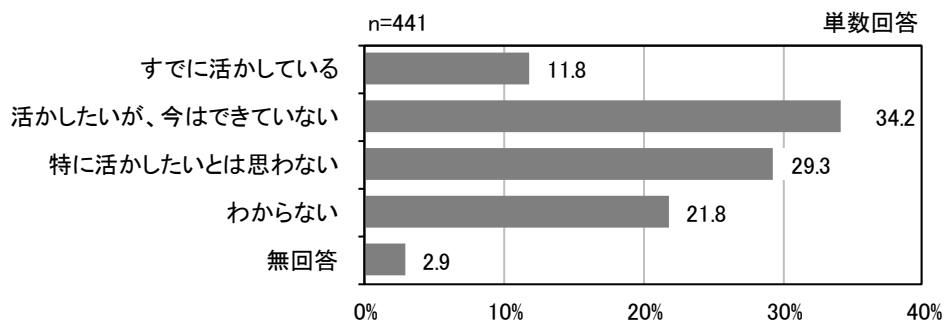


問 10 具体的な内容
体操、整体学
料理に関する事
着物リメイク、里山歩きなど
一応基礎は出来ますが、写真作成、年賀状、挨拶上等の作成
多摩市の歴史
高齢の為
中国語学習の技能向上。ゴルフの技能向上
家庭菜園や農業、物作り
英語を必要とする、ボランティア活動
投資について勉強したい。多摩市の外来植物駆除。資格（仕事に役立つ）
地域の生活に必要な知識や新しい情報は知りたいが、地域の会報誌により詳細な報告があるので十分である。体力的に許す限り参加している（草取り、防災、救急処置等）
80歳過ぎてでも出来る、ウォーキング等（老人向き）があると良いと思います
ペン字習い
環境問題
詩吟、声を出すこと
俳句を学びたい
会計、医療など
東日本大震災のその後について知りたい（復興の進み具合等）
真の「日本の戦争の真実」を調べたい
博物館に行きたいが、特別展は高い。図書館はかなりの頻度で利用しているし、リクエスト制度も多様化している
日韓・日中問題を考える為に、日本の近代史を勉強するだけでなく、グループの中で、話し合う機会が欲しい
水彩画や油絵など学びたい。料理教室も良い
老人会の利用
ボランティア活動を通じて、健康、仲間づくり（高齢者の為の）
プログラミング、書道
亡夫が参加していた、国際交流の仕事は、とても良いと思います。英語は私も昔学習しました（もうさび付いていますが）
10人位で討論する場、自分の考えなり、意見を言う場が欲しい
伝統民俗芸能（囃子）
ヨガやピラティス
相続（子供への）
ガーデニング講座、語学、バレエ
「書」をしてみたい。トレッキングをしたい

問 10 具体的な内容
語学（フランス語入門）
高齢化社会に優しい街作り
園芸、野菜作り
一人で学ぶばかりでなく、話し合いながら社会、地域について考える活動。楽しくいろいろ学びたい
スキーのオフトレーニング
体を動かすアウトドア派なので、沢山色々なことを知りたい（特に釣りやランニング）

### 問11 あなたの知識や経験、学習の成果を、ボランティア活動や地域社会の発展のために活かしたいと思いませんか。（1つに○）

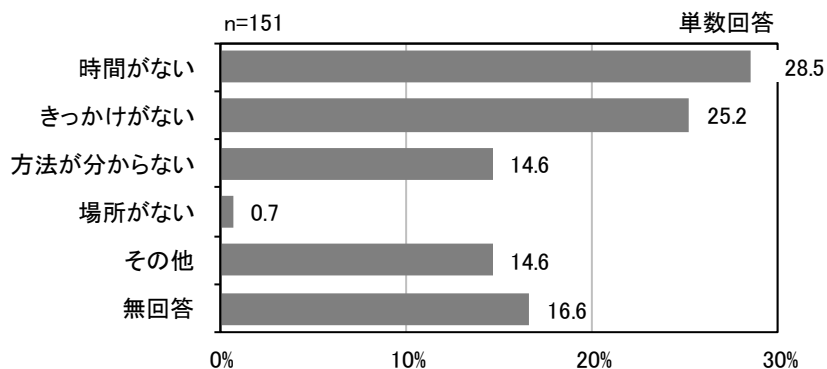
知識や経験、学習の成果を、ボランティア活動や地域社会の発展のために活かしたいと思うかについては、「活かしたいが、今はできていない」が34.2%で最も高く、次いで「特に活かしたいとは思わない」が29.3%、「わからない」が21.8%となっています。



#### ★問11で「2. 活かしたいが、今はできていない」と答えた方

### 問12 活かしたいが、今はできていない理由は何ですか。（1つに○）

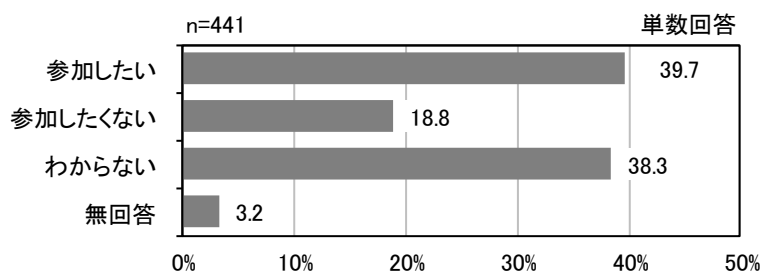
活かしたいが、今はできていない理由については、「時間がない」が28.5%で最も高く、次いで「きっかけがない」が25.2%、「方法が分からない」が14.6%となっています。



#### ★全員がお答えください

### 問13 あなたは、地域や社会での活動（地域活動やボランティア活動など）に参加したいと思いませんか。（1つに○）

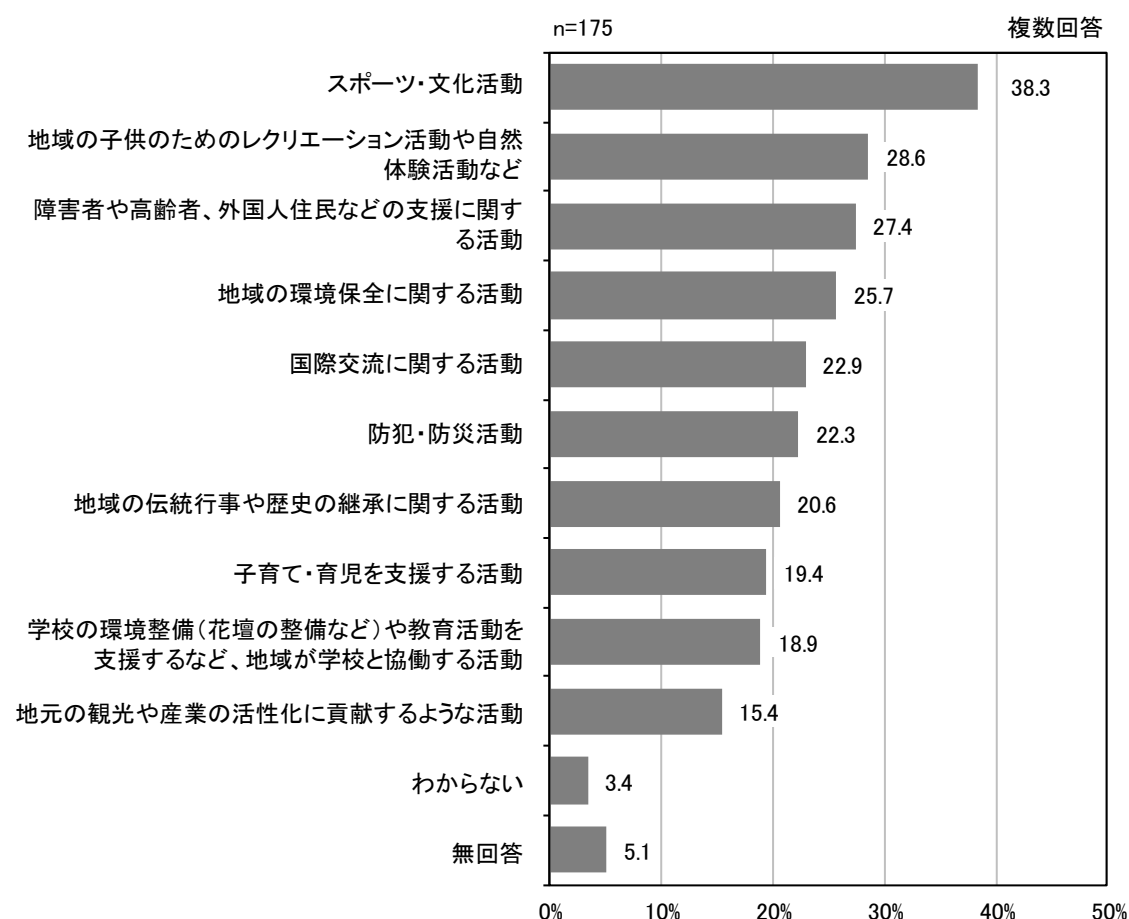
地域や社会での活動（地域活動やボランティア活動など）に参加したいと思うかについては、「参加したい」が39.7%で最も高く、次いで「わからない」が38.3%、「参加したくない」が18.8%となっています。



## ★問 13 で「1. 参加したい」と答えた方

## 問14 あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいですか。（〇はいくつでも）

地域や社会でどのような活動に参加してみたいかについては、「スポーツ・文化活動」が 38.3%で最も高く、次いで「地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など」が 28.6%、「障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動」が 27.4%となっています。



## 問 14 希望する活動

他人の役に立つことなら、何でも構わない

健康活動

高齢化の地域住民と係る活動

多くの人と係わるのは、難あり（個人で行いたい）

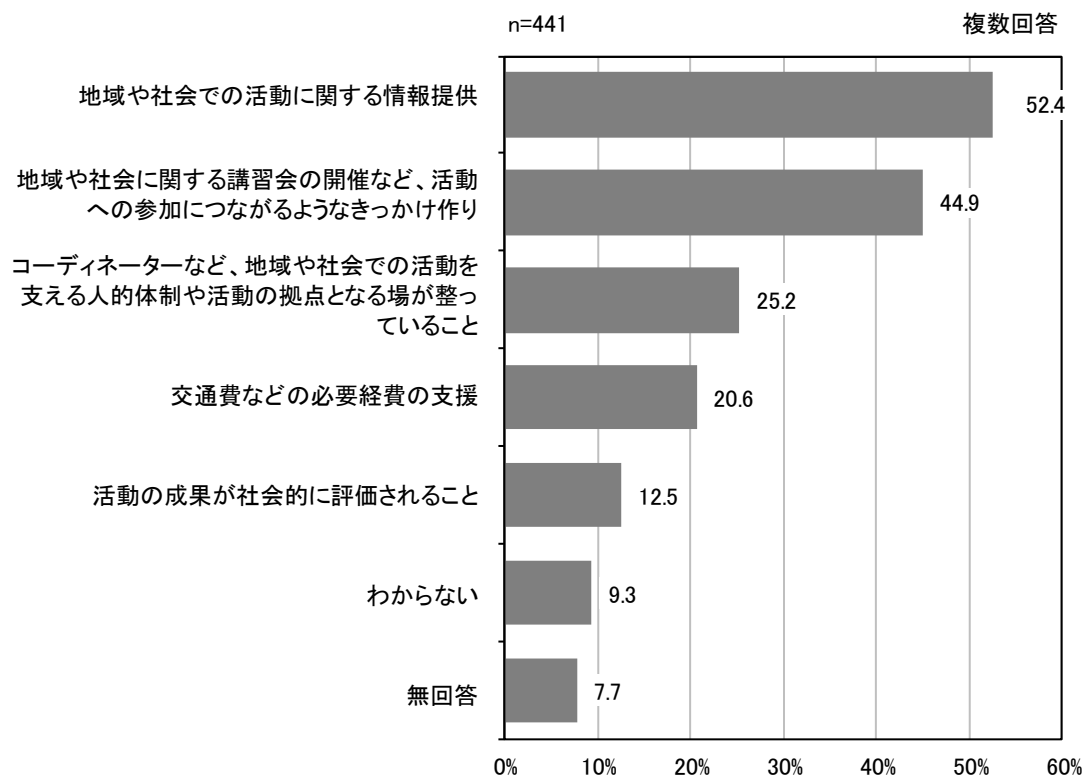
自閉症の人達、知的の人達が、もっと地域で活躍出来るように、健常者と障害者が交流して社会的な障害者に対する誤解を解く活動（レクサスポーツ大会など）

子供の学び、楽しい生涯学習活動の場として、学校（教育）を考えたい。9月4日東京新聞の国分寺で「夜スク」のような活動

楽しく生きる方法と健康維持

### 問15 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、行政はどのようなことをすれば良いと思いますか。（〇はいくつでも）

多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、行政はどのようなことをすれば良いと思うかについては、「地域や社会での活動に関する情報提供」が52.4%で最も高く、次いで「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」が44.9%、「コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること」が25.2%となっています。



問 15 アイデア
<参加することに対するメリットの創出>
地域や社会での活動に参加したらポイントがもらえるなど参加するメリットがあれば参加したいと思う人は増えるかもしれない
僅かでも報酬があれば、やりたい主婦の方は多いと思う。前述のように自治会・PTA など無償の仕事で手一杯なので
参加者がメリットを感じられる地域活動の具体的な提案
地域社会での活動に参加することによるメリットの創出、もしくはメリットの広報活動
自分自身にどのようなリターンがあるのかが具体的に知る場があった方が良い
<活動拠点の提供、充実>
特に活動拠点の提供
場を提供する事、集まって話し合う場がない（少なすぎる、情報が無い）
とにかく気軽に、人が集まれるような場を作る。ワーキングペアレンツのスケジュールに

問 15 アイデア
配慮する。PTAのように拘束的にしない。若年層（30 から 40 代）にもアピールする
大和市のシリウスのように、全ての住民が安心して一日過ごす事の出来る場合は、私の理想図書館に専門書が少ない
＜内容や募集する年齢層の具体化＞
一人だと参加しづらいので、どの様な年代の方がいるのか、分かると自分でしたら参加しやすいなと思います
年齢層を指定しての募集、知らないお年寄りばかりだろうと思うと足が遠のく
特定の分野の募集をする（海外居住経験者、プログラマー、編み物達人、元野球部）集まる事を目的にせず、確かな目的を設ける（市の施設の HP 改善、留学希望者勉強会、地域対抗野球大会（永山 VS 関戸、諏訪 VS 見取））
それぞれの活動のより具体的な内容。例えば、小学校での「ボランティア活動」では、よくわからないが、「〇〇行事の来場者の自転車の整理」とすなど。
若年層が楽しめる企画。気軽に友人と参加できるような
魅力のあるテーマの設定
日本文化を継承するための技術を持っている人を集めて、その技術をみんなに伝えてもらうと良いとおもいます
＜企業や地域との連携＞
企業に呼び掛け参加してもらう（スポンサー）
地域での縦横の繋がりは希薄になっているので、少しの人数の方が活動を支える体制でも変わらないと思う。企業への呼びかけ（ある意味半強制のような）や参加することによりポイントがもらえる等
地域住民との交流の他、地域の大学・企業との積極的な連携、企画
＜生涯学習に対する教育・情報提供＞
自分の興味のあるものについて、いつでも説明が受けられる場所（さまざまな活動に対して）があればと思う（年中無休）
子供の頃から活動に参加できるように（学校活動の一環として）
地域の住民が必ず出掛ける場所（例えば銀行やコンビニ、病院、クリニック等）に広報活動等の用紙を置いて頂けると、目で見える機会は増えると思います
生涯学習の成果を活かすための、市民に対する教育
仕事をしている人でも参加することに積極的になれる基盤作りが必要です
＜経済的支援＞
他の市、区では助成事業あり。多摩市も
活動する人の負担を最小化できるよう、費用面で支援する
＜行政の姿勢＞
行政と地域の人との関係作り
行政が率先した活動などで地域を引っ張っていく姿勢（やっているかもしれないが見えに

問 15 アイデア
くい)
個人情報など守秘義務がしっかり守れる人柄、人間性を基本的に備えている人物の選択が大切です
行政の人件費削減
行政としての姿勢。ワークショップ開催、場所・時間が不明で参加の判断が出来ない。メールの無い人は。本当に前向きなのか疑問
出張講習会の実施
<その他>
生活保護者でも、健康人で仕事をしていない人が多くいるが、除草活動など提供し、本人の活動と街の美観に貢献を（真夏日を除く）
群がる集団より、おひとり様で楽しむ方がいい、今の所地域活動に興味はない
大勢で集まって行わなければいけないのでしょうか
交通手段
減税



**問16 あなたが今、生活の中で一番困っていることは何ですか。ひとこと（キーワード）でお答えください。（例：子育て、仕事、近所づきあい など）**

生活の中で一番困っていることについては、「健康」に関するものが45件で最も多く、次いで「仕事」に関するものが40件、「近所付き合い・交流」に関するものが29件となっています。

問 16	件数
健康	45
仕事	40
近所付き合い・交流	29
経済的な問題	28
子育て	23
高齢化・介護	26
環境・マナー	17
老後・生前整理	14
ワークライフバランス	7
家事（買い物、片付けなど）	7
時間	7
家庭環境	6
自分自身の生活	4
勉強・学習	4
結婚・パートナー	3
その他	6

**問17 あなたが今、生活の中で一番大事にしているものは何ですか。ひとこと（キーワード）でお答えください。（例：家族、お金、健康 など）**

生活の中で一番大事にしているものについては、「健康」が203件と最も多く、次いで「家族・家庭」が178件、「お金」が21件となっています。

問 17	件数
健康	203
家族・家庭	178
お金	21
仕事	16
友人・仲間	13
時間	11
趣味	10
平穏・安定	6
ワークライフバランス	4
勉強	3
生きがい	2
成長・夢	2
自分	1
やりがい	1
運動	1
愛	1
その他	7

**問18 今、多摩市において最優先に解決されるべき地域の課題とは何だと思えますか。ひとこと（キーワード）でお答えください。（例：高齢化、独居 など）**

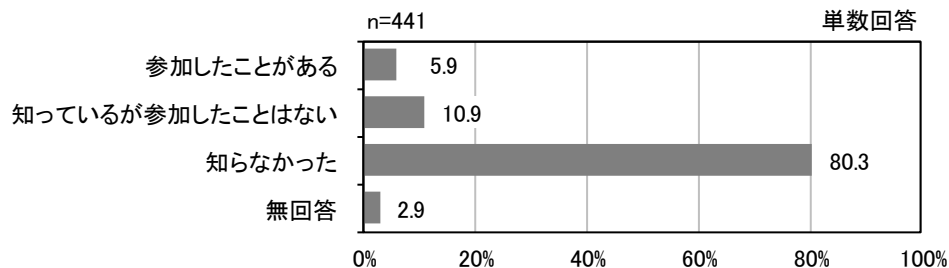
多摩市において最優先に解決されるべき地域の課題については、「高齢化」が 190 件と最も多く、次いで「独居」が 45 件、「まちづくり・活性化」が 24 件となっています。

問 18	件数
高齢化	190
独居	45
まちづくり・活性化	24
地域交流の希薄化	15
子育て支援	17
交通手段・移動手段	11
少子化	10
公共施設の老朽化・活性化	6
空き家	5
環境保全・美化	5
マナー・モラル	5
商業施設	4
若い世代への支援	4
団地の活用	4
防災・防犯	4
仕事	3
高齢者等の施設の充実	3
人口減少・過疎化	3
障がい者支援	2
人材の活用	2
その他	3

## 2. 市の生涯学習に関連する取り組みについて

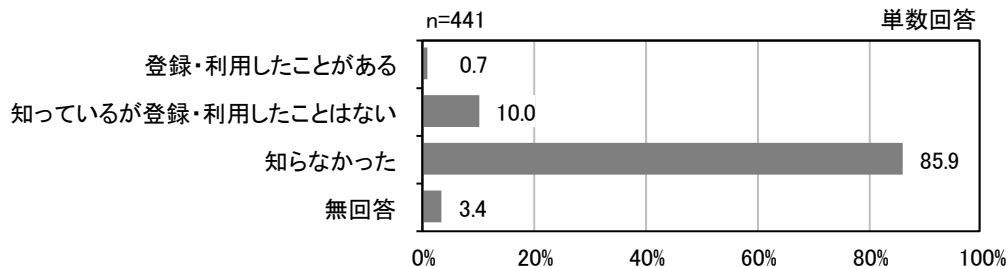
### 問19 市役所の業務に関することを職員が伺い説明をする『出前講座』についてお答えください。（1つに○）

市役所の業務に関することを職員が伺い説明をする『出前講座』については、「知らなかった」が80.3%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が10.9%、「参加したことがある」が5.9%となっています。



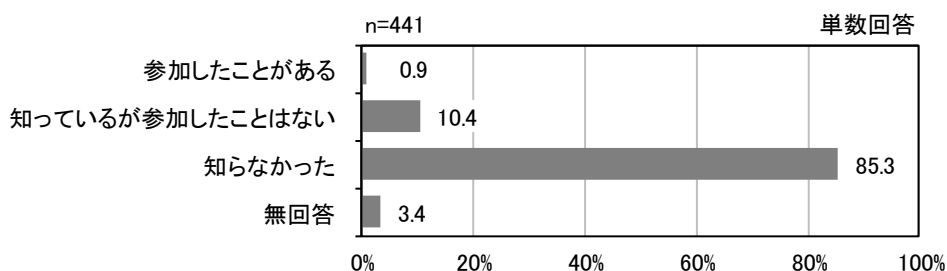
### 問20 講師、指導者の登録制度である『生涯学習市民バンク』についてお答えください。（1つに○）

講師、指導者の登録制度である『生涯学習市民バンク』については、「知らなかった」が85.9%で最も高く、次いで「知っているが登録・利用したことはない」が10.0%、「登録・利用したことがある」が0.7%となっています。



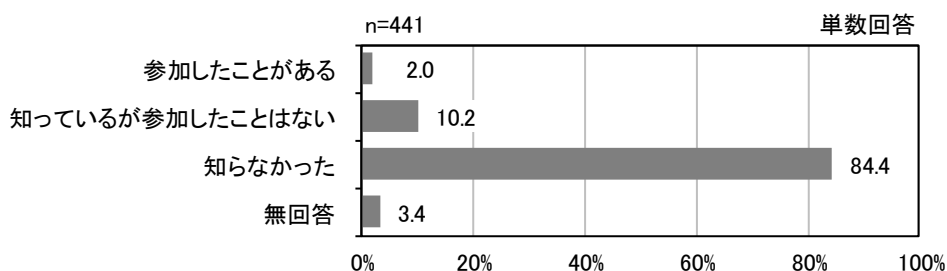
**問21 新たな市民主体のまちづくりを担う人材の発掘・養成を目的として、平成 25 年度から開催している講座である『わがまち学習講座』についてお答えください。  
(1つに○)**

新たな市民主体のまちづくりを担う人材の発掘・養成を目的として、平成 25 年度から開催している講座である『わがまち学習講座』については、「知らなかった」が 85.3%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が 10.4%、「参加したことがある」が 0.9%となっています。



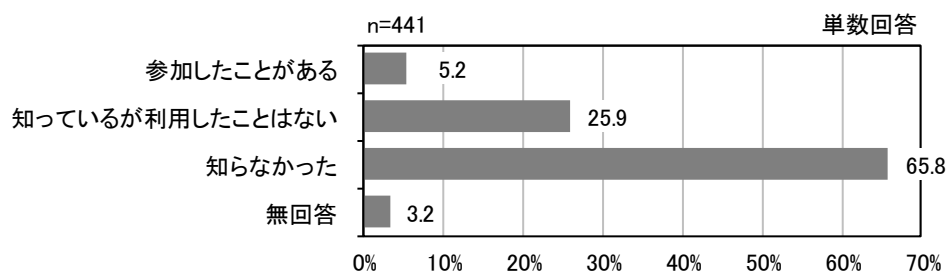
**問22 多摩市では、市民の皆さんの得意・専門分野を活かし、企画した講座を公民館の共催事業として支援する制度として『市民企画講座』を実施しています。この『市民企画講座』について、お答えください。(1つに○)**

『市民企画講座』については、「知らなかった」が 84.4%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が 10.2%、「参加したことがある」が 2.0%となっています。



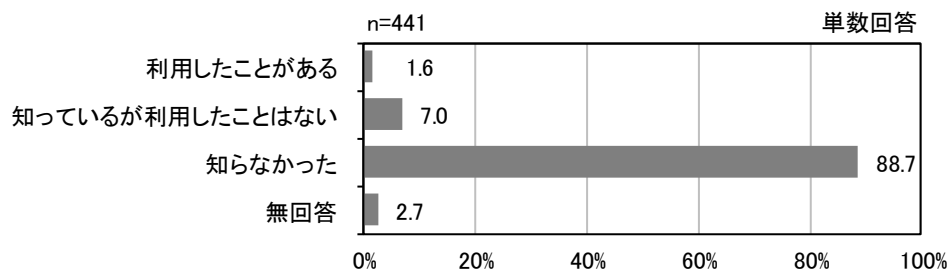
**問23 多摩市社会福祉協議会（社協）では、自分に合ったボランティア活動や市民活動を探したり、参加するための情報提供や相談支援を行う「多摩ボランティア・市民活動支援センター（通称：多摩ボラセン）」を運営しています。この多摩ボラセンについてお答えください。（1つに○）**

「多摩ボランティア・市民活動支援センター（通称：多摩ボラセン）」については、「知らなかった」が65.8%で最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が25.9%、「参加したことがある」が5.2%となっています。



**問24 多摩市では、地域デビューを考えている方に、活動団体や活動内容を紹介する「地域デビュー手引書」を作成しています。この手引書についてお答えください。（1つに○）**

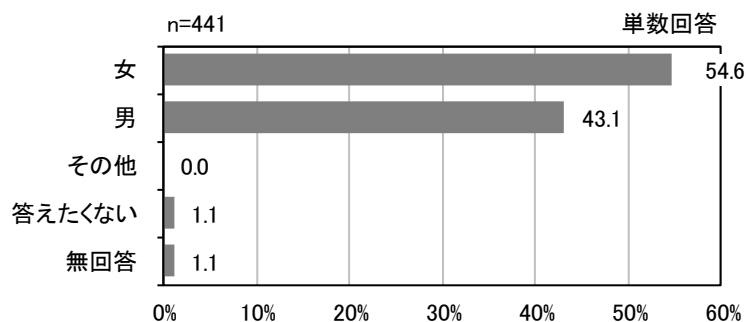
「地域デビュー手引書」については、「知らなかった」が88.7%で最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が7.0%、「利用したことがある」が1.6%となっています。



### 3. あなたご自身について

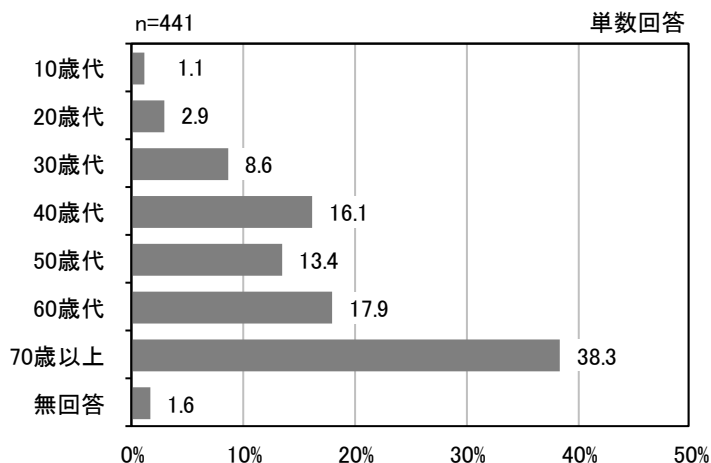
#### F 1 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

性別については、「女」が54.6%で最も高く、次いで「男」が43.1%、「答えたくない」が1.1%となっています。



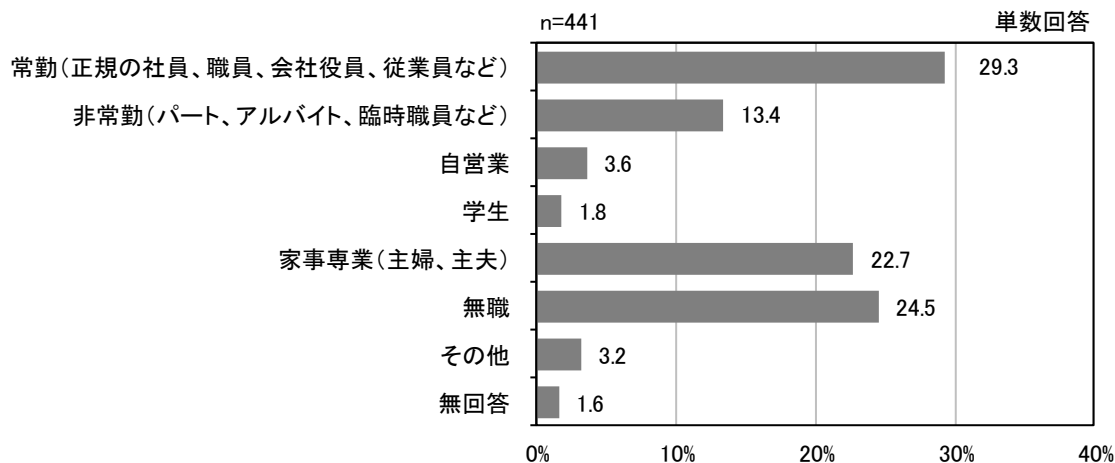
#### F 2 あなたの年齢をお答えください。（1つに○）

年齢については、「70歳以上」が38.3%で最も高く、次いで「60歳代」が17.9%、「40歳代」が16.1%となっています。



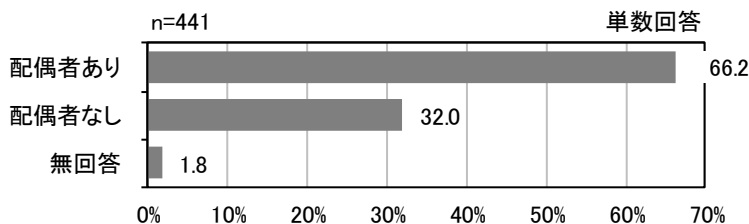
### F 3 あなたの就業状況をお答えください。（1つに○）

就業状況については、「常勤（正規の社員、職員、会社役員、従業員など）」が29.3%で最も高く、次いで「無職」が24.5%、「家事専業（主婦、主夫）」が22.7%となっています。



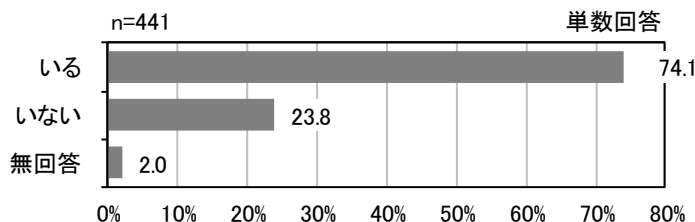
### F 4 あなたの配偶者の有無をお答えください。（1つに○）

配偶者の有無については、「配偶者あり」が66.2%で、「配偶者なし」の32.0%を上回っています。



### F 5 あなたにはお子さんがいますか。（1つに○）

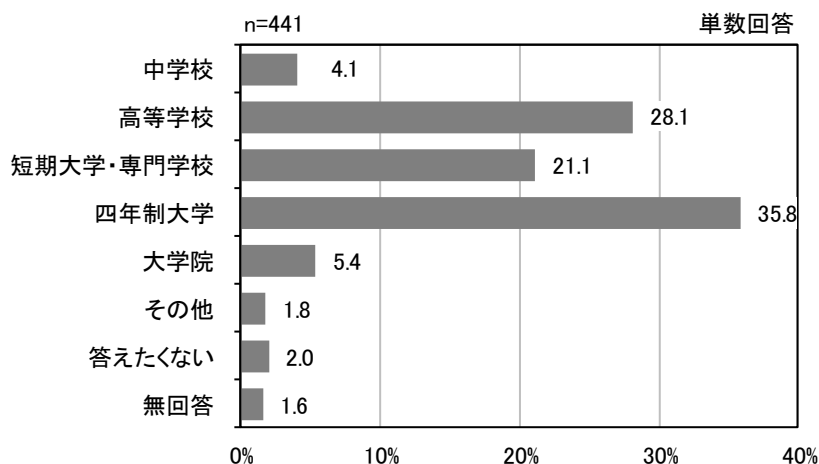
お子さんの有無については、「いる」が74.1%で、「いない」の23.8%を上回っています。





### F 6 あなたの最終学歴をお答えください。※在学中の方は、現在の学校(1つに○)

最終学歴については、「四年制大学」が35.8%で最も高く、次いで「高等学校」が28.1%、「短期大学・専門学校」が21.1%となっています。



### F 7 あなたの世帯年収についてお答えください。(1つに○)

世帯年収については、「101～300万円」が24.5%で最も高く、次いで「301～500万円」が21.8%、「501～700万円」が14.7%となっています。

